

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公開番号】特開 2011-33143 (P2011-33143A)

【公開日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報 2011-007

【出願番号】特願 2009-180822 (P2009-180822)

【国際特許分類】

F 1 6 D 65/18 (2006.01)

F 1 6 D 65/02 (2006.01)

F 1 6 D 55/228 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 65/20 F

F 1 6 D 65/02 B

F 1 6 D 55/228

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 18 日 (2012.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ピストンをシリンダのボア内で摺動させて該ピストンによりブレーキパッドをディスクに押圧するディスクブレーキであり、前記シリンダが、底部の蓋部材と、該蓋部材の摩擦攪拌接合により閉塞される開口部を有するシリンダ本体とから構成されるディスクブレーキにおいて、

前記シリンダ本体のディスク径方向内方側の肉厚を、ディスク径方向外方側の肉厚よりも大きく形成したことを特徴とするディスクブレーキ。

【請求項 2】

前記肉厚は、少なくとも前記シリンダに形成されるピストンシール溝より軸方向底部側の部分の肉厚であることを特徴とする請求項 1 に記載のディスクブレーキ。

【請求項 3】

前記肉厚は、少なくとも前記シリンダの軸方向中央部分から軸方向底部側までの肉厚であることを特徴とする請求項 2 に記載のディスクブレーキ。

【請求項 4】

前記シリンダは、前記ディスクの周方向に並んで少なくとも 2 つ設けられ、

前記ディスク径方向内方側の前記肉厚は、前記ディスクを跨いで前記シリンダに接続されるブリッジ部の接続部位と前記シリンダのディスク径方向最内方部位との間の部分の肉厚であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のディスクブレーキ。

【請求項 5】

前記シリンダに対向して前記ディスクを挟んで爪部が設けられ、

前記ディスク径方向内方側の前記肉厚は、前記ディスクを跨いで前記シリンダと前記爪部とを接続するブリッジ部と前記シリンダとの接続部位と、前記シリンダのディスク径方向最内方部位との間の部分の肉厚であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のディスクブレーキ。

【請求項 6】

前記シリンダ本体の前記ディスク径方向内方側には、該ディスク径方向内方側の前記肉厚を構成するリブが設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のディスクブレーキ。

【請求項 7】

前記リブは、前記ピストンの摺動方向に沿って形成されていることを特徴とする請求項 6 に記載のディスクブレーキ。

【請求項 8】

前記シリンダ本体のディスク径方向内方側の肉厚は、ディスク径方向外方側の肉厚に対して $1.2 \sim 1.8$ の比率で形成したことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載のディスクブレーキ。